

1. グループワークの結果

グループ①



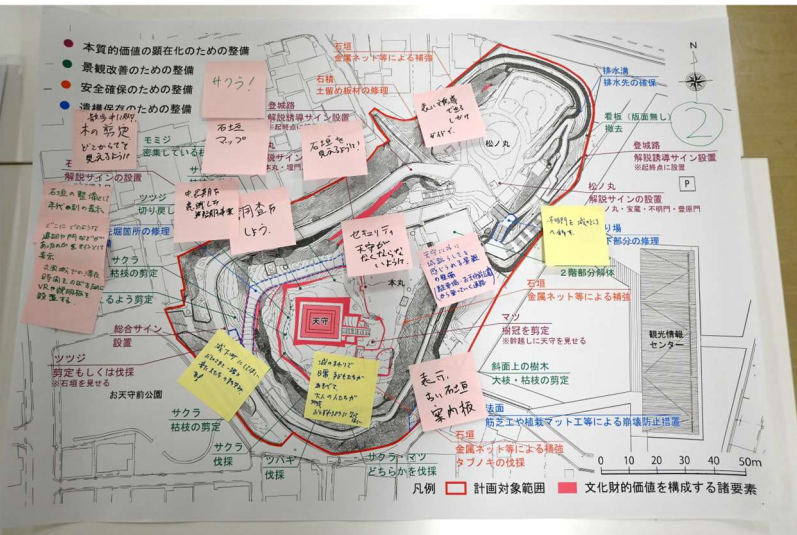
短期の課題

- ・ 来訪者が「いいね」と思えるような場所にしたい
- ・ 来訪者の長時間の滞在・周遊
- ・ お茶室の設置
- ・ 夜間の来訪者の安全確保

短期事業

- ・ 市民が日常的に散歩できる
- ・ 行灯はより明るく、丸岡城に合ったデザインにする
- ・ 写真撮影スポットの明示
- ・ 案内板の設置 (歴史的背景が分かる説明、多言語化、スマートフォンの活用)
- ・ バリアフリー化

グループ②



短期事業

- ・ 天守周辺のセキュリティ強化 (立ち入り制限・監視設備)
- ・ 門や石垣等の遺構の案内板設置
- ・ VRの活用
- ・ 天守周辺の樹木の剪定による視界確保

中長期事業

- ・ 遺構復元に向けての調査

グループ③



短期事業

- ・ 当時の雰囲気を残しつつ、安心・安全な道の整備
- ・ 天守を中心に城山全体を見せる (ライトアップ・植栽管理)
- ・ 観光と文化の両立 (発掘調査・遺構復元・文化財の展示)
- ・ 丸岡城へのアクセスの改善

グループ④



短期事業

- 城山全体の植栽計画の策定
- 順路計画の策定
- 全体的な景観の整備 (建造物の撤去)
- 門や遺構の復元に向けた発掘調査の推進

グループ⑤

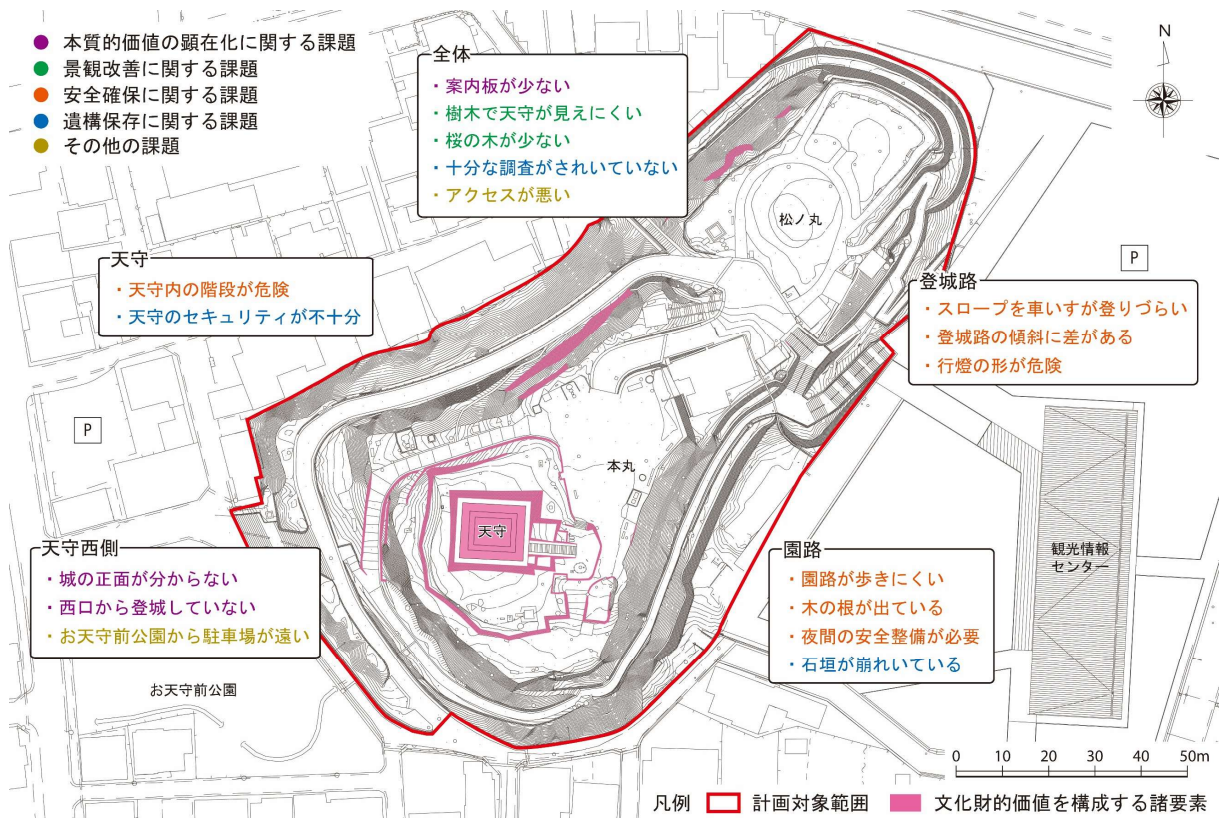


事業の課題

- 今回挙がった諸課題の早期解決
- 短期事業
 - 展望の整備 (伐採・剪定・植樹)
 - 安全な動線の整備
 - 松ノ丸の景観改善

2. グループワークの意見概要

(1) 短期整備事業の課題



(2) 短期整備事業の将来像

本質的価値の顕在化のための整備

- 石垣の表示や案内板を設置する
- 遺構の位置をサインで表示する
- 歴史的背景を案内板に反映する
- 城の表側が分かるように誘導する
- 天守を隠している木を伐採・剪定する
- 大正天皇が植樹したマツは剪定にとどめ、解説板を設置する
- 不明門を城へ移す
- 石橋門、埋門、不明門を復元する

景観改善のための整備

- 天守以外に城らしさを感じられる景観整備をする
- 植栽計画を策定する
- 四季を楽しめる植栽を導入する
- 植樹の間隔を考慮する
- 樹木の高さを統一する
- 桜の木を増やす
- さくら名所100選に向けた植栽を行う
- 松ノ丸の枝垂れ桜を再現する
- 行燈を丸岡城にふさわしいデザインにする
- 石碑や管理棟等を撤去・移設する

安全確保のための整備

- 順路計画を策定する
- スロープ等バリアフリーに向けた整備をする
- 夜間の登城ルートの安全整備をする
- 夜間照明を設置する

遺構保存のための整備

- 天守のセキュリティを強化する
- 内部遺構の位置調査や石垣調査を行う

その他の整備

- 市民が日常的に気軽に登城できる城にする
- 住民の憩いと観光客の楽しみを両立させる
- 発掘調査の過程を市民に共有する
- 観光と文化的価値を両立させる
- 見学時間を延ばす
- 丸岡城や藩の史料や文化財を近くで見られるようにする
- SNS向けフォトスポットを設定する
- VRを活用する
- 城山全体をライトアップする
- 丸岡城らしいお土産屋やイベントを用意する
- 池に大手門や橋を架け、イベント等に活用する
- 武家屋敷や城下町を再現する
- 茶室を設置する
- 水蒸気を出し、霞ヶ城を再現する
- 中長期を意識した短期事業にする
- 今回挙げた課題を早期に実施する